



tasar

Japan Tasar Assosication
<http://www.tasarjapan.org/>

99

Tasar News Letter
Vol.99
April 2016



CONTENTS

シーズンイン	1
2015 年度下期活動報告	2
2016 年度スケジュール	2
日本テザー協会 2015 年度年次総会議事録	3
安原実郎さんが JSAF 功労賞を受賞	4
日本テザー協会 30 周年にあたって	4
プレワールド開催のご案内	5
第 30 回記念テザー全日本大会レポート	9
2015 年度下期レースレポート	11
2015 年度 TOY 集計	15
2015 年度下期レース成績一覧	16

シーズンイン

会長 田中 郁也

3月のフリートレース（IST：Inage Sail Training）で、遅ればせながら初乗りを果たしました。冷え込んでいたので、冬仕様（上下のスーパーウォーム）で出たのですが、途中でトップを脱ぐくらい、日差しには十分な暖かさがありました。春本番ですね。

2016年のシーズンが始まります。今年は、蒲郡ワールドのテストイベントとして行う、プレワールドを含めて、7つのレガッタを開催します。1日のレガッタである、西日本（芦屋）、オータム（稲毛）、ミッドウィンター（江ノ島）の前日には、練習会を開催します。また、プレワールドの前週には、蒲郡では海陽セーリングカップが開催され、昨年同様テザークラスもレガッタへの参加が可能です。三河湾の海面に慣れる、現地トレーニングの機会としていかがでしょうか。

2016-2017の協会理事会体制がスタートします。新しいメンバーにも加わっていただきました。また、ワールド準備委員会には現在14名の方が参加されています。レースのプランニングや海外とのやりとり、広報や協賛の募集などに対応されています。蒲郡ワールドまでは、理事会と準備委員会の2本立てで協会活動とワールド準備が円滑に進むよう取り組んでいきます。

今年はレース、練習会の活動のほか、普及活動にも力を入れたいと考えています。蒲郡ワールドをきっかけに、テザーに乗りたい、艇を持ちたいという方が増えています。新しくテザーを始めようという方には、テザーに乗ってもらう機会を提供できたらと思います。また、しばらくテザーから離れている方、蒲郡ワールドを楽しみに戻ってきませんか。待っています。

今シーズンもテザーを楽しみましょう。

JTA2015 年度下期活動報告

活動報告

協会公式イベント

2015年度下期（10月～3月）は、下記の公式イベントを実施しました。

JTA 公式レース

- ・ 第30回記念テザー全日本選手権（江の島/2015年10月10-12日/29艇）優勝 戸室/堀之内組
- ・ 和歌山ワールドメモリアルレガッタ（和歌山/2015年11月8日/11艇）優勝 中村/岡本組
- ・ ミッドウィンターレガッタ（稲毛/2016年2月21日/18艇）優勝 池田/須山組

練習会

- ・ 練習会（稲毛/2016年2月20日）

2016 年度スケジュール

※公式行事※

日 程	イベント名	場 所	備 考
4/23(土)～24(日)	スプリングレガッタ	葉山	
6/18(土) 14:00～	日本テザー協会 創立30周年記念パーティー	横浜国際ホテル	
7/10(日)	西日本選手権	芦屋	11(土) 公式練習会
7/22(金)～24(日)	プレワールド	蒲郡	レースは7/23,24の2日間
8月下旬	ミッドサマーレガッタ	猪苗代	日程調整中
9/25(日)	オータムレガッタ	稲毛	24(土) 公式練習会
10/8(土)～10(月)	第31回全日本選手権	和歌山	レースは10/9,10の2日間
2017/3/12(日)	ミッドウィンターレガッタ	江ノ島	11(土) 公式練習会

※オープンレース※

ワールド会場 蒲郡でのセーリングの機会を確保するため、昨年に引き続き「海陽セーリングカップ」に“テザークラス”を設けていただきました。日程はプレワールドの前週の3連休 7/16(土)～18(月・祝)です。三河湾の夏の風を攻略しましょう。奮ってご参加ください。

日 程	イベント名	場 所
7/16(土)～18(月・祝)	海陽セーリングカップ	蒲郡

日本テザー協会 2015 年度年次総会議事録

日時：2015 年 10 月 10 日（土）16：00～

場所：江の島ヨットハーバー 1 階 ミーティングルーム A

1. 開会宣言
2. 会員数・出席者及び委任状確認・総会成立報告
当日会員数：(81) 名 → 定足数：(27) 名 (会員数×1/3)
出席者数：(34⇒審議時点39) 名、委任状数：(14⇒有効数13) 名
→出席者・委任状合計：(52) 名
※参考 オブザーバー出席者数：約(10) 名(会員以外/投票はできません)
3. 議長選出 (※議長は採決が同数の場合のみ採決に加わります。)
議長：(田中郁也会長)
4. 報告事項
 - 1：活動報告 (イベント・メジャー・ルール普及担当・広報)：別添資料
 - 2：次年度活動予定 (イベント/強化普及担当・JTA30周年記念行事)：別添資料
(補足説明)
 - ミッドサマー 8/27,28 猪苗代で開催予定
 - 全日本 10/8～10 和歌山で開催予定
 - オータムレガッタ 稲毛開催予定 11 月で設定する可能性あり
 - ミッドウィンター 江の島 toto トレーニングレースに相乗り予定
 - 4 月～7 月の間に蒲郡で練習会を開催する可能性あり
 - 3：会計報告：別添資料
 - 4：2017 年蒲郡ワールド準備状況報告：別添資料
5. 審議事項
 - 第 1 号議案：次年度予算案
全員一致にて可決：別添資料
(補足説明)
 - 会員増を見込んでいるため、収入を増額させている
 - 該当年度中のワールド関連の収支をワールド会計として内包しているが、年次予算で消化させるものではなく別会計を立てる
 - 理事会開催は今年度より WEB 会議を実施することで抑制している
 - 30 周年記念費用を計上している
 - 第 2 号議案：C2.2(o)国内レースにおける不適用の審議
(クラスルール変更に伴う再審議)：別添資料 (事前質問に対する回答含む)
(補足説明)
 - 2010 年総会でクラス規則不適用決議の概要
 - 事前質疑・回答に関するコメント全員一致にて可決 ⇒ 賛成とも反対ともいえないという意見あり
 - 第 3 号議案：次期会長の選出
 - 田中郁也さん続投全員一致にて可決
6. 閉会挨拶

以上

安原実郎さんが JSAF 功労賞を受賞

安原実郎さん（デラマンチャヨットクラブ/葉山）が、日本セーリング連盟の「功労賞」を受賞されました。2016年1月23日に開催されたJSAF代表者会議にて、表彰式が行われました。

安原さんは、テーパーが初めて日本に導入された時からのテーパー愛好家で、1986年に葉山で開催された第1回テーパー全日本選手権大会の初代チャンピオンでもあります。

今回の表彰は、安原さんが日本テーパー協会設立時から今日に至るまでの永年に渡りテーパークラスの普及・発展に尽力され、日本のセーリング界に多大な貢献をされたことがJSAFから認められたものです。

当日は受賞者代表としてご挨拶され、90歳でもまだまだ海に出たい、との意欲的な姿勢に、会場から拍手が湧きました。



安原さん（前列中央）と他の受賞者

日本テーパー協会 30周年にあたって

日本テーパー協会 会長 田中郁也

2016年、日本テーパー協会は、設立30周年を迎えます。

テーパーの愛好者の一人として、テーパーというヨットに出会い、多くのレガッタを楽しみ、多くの人とのつながりを持てたことを幸運だったと思っています。30年もの長きにわたり、テーパーとの出会いやテーパーを楽しむ機会を提供しているテーパー協会の役割の大きさを改めて感じています。



何故、30年続いてきたのか。それはテーパーを介して生まれた人のつながりを大事にしてきたからなのだろうと思います。その歩みは、テーパーの将来を考える上での“基本”とすべきものだと思います。多くの愛好者の方々にテーパーや仲間とのつながりを持ち続けていただきたい、そのような思いで30周年を祝う会を6月18日に開催いたします。

テーパーを愛する皆さん、6月18日に集まりましょう。30年を振り返り、テーパーの将来を語り合しましょう。ご家族、未来のテーパーセーラーも是非一緒にどうぞ。ご案内を3月末に郵便にてお送りしました。ご案内が届いていない場合には、国内事務局 (jta-information@tasarjapan.org) までご一報ください。

蒲郡ワールドの準備が進んでいます。日本人ワールドチャンプの誕生に向けた競争にも火が付くでしょう。ワールドを最初の一里塚として、テーパーの普及にも取り組んでいきます。

テーパーの将来に皆さんの知恵と力をいただけるようお願いします。

プレワールド開催のご案内

世界選手権大会まで1年となる今年7月(22日-24日)、プレワールド大会を蒲郡にて開催いたします。レースは7月23日と24日の二日間です。レース海面や宿の下見を兼ねて、多くのチームに参加いただければと思います。



レース公示ほか、詳細は、JTAウェブサイト：<http://tasarjapan.org/> およびワールドウェブサイト：<http://tasarworlds2017.org/>に掲載されます。

プレワールドレース公示(英語)：http://tasarworlds2017.org/documents/pre-world_NoR.pdf
Test Event for 2017 Gamagori Tasar World Championship "Pre-World Championship"

レース公示の正本は英語版ですが、参考日本語訳が準備されておりますので、下記に掲載いたします。

= * =

テザープレワールド レース公示【参考日本語訳】* (脚注をご覧ください)

日程：2016年7月22日-24日

場所：豊田自動織機 海陽ヨットハーバー(愛知県蒲郡市)

主催：日本テザー協会

レース運営：愛知県ヨット連盟

1. 規則

1.1 本レガッタは『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。

1.2 各国連盟規程は適用されない。

1.3 セーリング競技規則 G3 を次のとおり変更する：

G3 チャーターまたは借用艇

レース公示、または帆走指示書に記載している場合、大会のためチャーターした艇または借用艇には、クラス規則に反している国を示す文字やセール番号(他の参加者と重複しない)を付けることができる。

1.4 セーリング競技規則 87 およびテザークラスルール解釈 29 に基づき、クラスルールを次の通りに変更する：

C.1.5 国を示す文字とセールナンバー

国を示す文字とセールナンバーは最低次の寸法でなければならない：

高さ：300mm

幅：200mm(1とIを除く)

太さ：50mm

隣接する数字の間隔はおよそ50mmでなければならない。

* 本文書はテザープレワールドのレース公示を参考までに日本語訳したものです。レース公示としては英語版が正本となります。本文中の日本語訳の誤りや解釈の違い、あるいは誤記等に関して、主催者、レース委員会および関係する団体や個人は責任を負いません。

C2.2 (o) シュラウドテンションを調整する 19mmRCB システムを装備することができる。RCB システムは以下の艀装品または同等品から構成される：

Ronstan RC11902 Cars

Ronstan RC11980 Track Ends

Ronstan RC1190 - 1.0 Track

Clamcleat CL268AN Cleats

Ronstan RF 1850S Shackles

18mm の硬質の合金あるいはステンレスで、両側のトラック端から 15mm 以上伸びる長さの、ガンネル下の負荷分散用のサポートロッド。

ガンネル下のサポートロッドは、どの方向にも 17mm 以上の直径であることを条件に、ワッシャーやナットを固定させるために、その全長にわたって平らに表面加工されていても良い。

ネジの固定

RCB トラックとガンネル下のサポートロッドは前後両端が 4 分の 1 インチ (6mm) のネジで固定されていなければならない。他の中間の (1 あるいは 2 本の) ネジは 16 分の 3 インチ (5mm) あるいは 4 分の 1 インチ (6mm) で良い。前端を持ち上げるパッキンは許可されていない。

計測

バウの U ボルトあるいはサドルと前側のトラック端のネジ穴を写真のようにデッキレベルで計測した長さは、最少 2125mm、最大 2135mm でなければならない。カーの移動範囲は 140mm を超えてはならない。

解釈 32 電子機器

レース中の艇は、時刻関連と方位以外の戦術的なアドバンテージを、電子機器より得てはならない。

1.5 使用言語間で矛盾が生じた場合には、英文が優先する。

1.6 本レース公示は修正されることがある。修正はレガッタの Web サイト (<http://tasarworlds2017.org/>) に掲示される。

2. 広告

艇は、主催団体により選択され支給された広告を表示するよう要求されることがある。

3. 参加資格および申込み

3.1 本レガッタはテザークラスのすべての艇が参加できる。

3.2 競技者はそのリージョンのテザークラス協会 (TCA) の資格を満たした会員でなければならない。リージョンの TCA の会員になろうとする競技者は、本レガッタの登録より前に、登録と支払を済ますことで参加することができる。

3.3 参加資格のある艇は日本時間の 2016 年 7 月 7 日 24 時まで大会のウェブサイト (<http://tasarworlds2017.org/>) にあるエントリーフォームを完成させ、「4. 参加料」に従って必要な参加料を支払うことにより参加申込みをすることができる。

3.4 すべての競技者は 2016 年 7 月 23 日 (土) 午前 10 時より前にレースオフィスで登録しなければならない。

4. 参加料

4.1 必要な参加料は次の通りとする；

4.1.1 日本の競技者

2016 年 7 月 7 日以前の支払われる場合の参加料：22,000 円 (返金はされない)

2016 年 7 月 7 日より後に支払われる場合の参加料：24,000 円 (返金はされない)

参加料の振込先銀行口座：

金融機関名：三菱東京 UFJ 銀行

支店名：高田馬場駅前支店（657）

預金種別：普通

口座番号：4730210

名義人：日本テザー協会 会計 池田 陽平

4.1.2 海外の競技者

7月22日にレースオフィスで現金にて支払われる参加料：22,000円（返金はされない）

4.2 参加料は競技者2人分のウェルカムパーティ代と艇置料を含む。

5.日程

5.1 登録と計測

2016年7月22日（金）10時から12時

2016年7月23日（土）9時から10時

5.2 レース日程

2016年7月23日（土）最大3レース

2016年7月24日（日）最大3レース

5.3 レースの予告信号の予定時刻は以下の通り；

2016年7月23日（土）12時

2016年7月24日（日）10時

6.計測

6.1 艇は本レガッタ中のいつでも安全装備と計測基準に一致していることを検査されることがある。

6.2 テーザークラスルール C6 に従うために必要な補足分の重りを用意するのは各参加者の責任である。それらは計測の際に提示されなければならない。レース委員会はその判断で、安定していないと思われる形状の重りを認めないことがある。

7.帆走指示書

帆走指示書は登録の際に入手できる。

8.開催地

レースエリアは豊田自動織機海陽ヨットハーバー（愛知県蒲郡市）の沿岸の水面である。

9.コース

コースは帆走指示書に示され、風上-風下と風上-風下-三角形のコースを含むことがある。

10.得点

10.1 シリーズの成立には少なくとも2レースを完了しなければならない。

10.2 5レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。

11. 支援艇

全ての支援艇とコートボートは 400mm×400mm より大きい白の識別旗を掲げなければならない。

12. 停泊

海陽ヨットハーバーに置いている間、すべての艇は指定された場所に保管しなければならず、オーナーの責任で置かなければならない。

13. 賞

13.1 賞は総合成績の上位 3 位に与えられる。

13.2 特別賞は以下の通り与えられる：

マスター優勝（合計年齢 80-99 歳）

グランドマスター優勝（合計年齢 100-119 歳）

スーパーグランドマスター優勝（合計年齢 120 歳以上）

この特別賞は乗員の合計年齢が、実施されたすべてのレースで年齢条件を満たした場合に与えられる。合計年齢は 2016 年 7 月 22 日の時点の年齢で計算される。

14. 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4 [レースすることの決定] 参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

15. 保険

各参加艇は本レガッタにおける事故に対し 1 人あたり 1 億円相当（日本円あるいはその他の通貨）以上の有効な第三者対人賠償責任保険に加入していなければならない。そして各参加艇は、本レガッタ中のあらゆる事故に対し 500 万円相当（日本円あるいはその他の通貨）以上をカバーする物損保険に加入していなければならない。エントリーフォームにサインする全ての艇のオーナー/競技者は、これらの保険に加入していることを宣言したものとする。競技者はこれらの保険への加入の証明を求められる。これらの保険に加入しなければ競技に参加できない。

16. 名前と肖像を利用する権利

本大会に参加するにより競技者は主催者とスポンサーに対し、競技期間中の彼または彼女のあらゆる写真、ビデオ、あるいはその他の複製を、時あるごとに自由に作り、使いそして公開する権利を、無償で永続的に譲渡したものとする。

17. 追加情報

追加情報は以下にアクセスしてください：

ウェブサイト：<http://tasarworlds2017.org/>

E-Mail: japanworld@tasarjapan.org

FAX: +81-43-305-4471

==*==

第 30 回記念テザー全日本大会レポート

強風と微風の 2 日間、江の島・第 30 回テザー級全日本選手権



10月11、12日、江の島で「テザー級全日本選手権」が開催されました。今年は全日本選手権30回記念大会となり、全国から29艇が出場。テザークラスらしく、夫婦ペア、恋人ペア、親子ペア、クルーザー系チームなどビギナーからベテランまで、アットホームな雰囲気の中でおこなわれました。大会初日は前線通過、強風のためレースはキャンセル。第1レースのスタート時刻を早め、終了時刻を遅らせておこなわれた2日目は、振れまわる南の風で2レースを実施。選手、運営泣かせの風で安定して成績をおさめた戸室宣房／堀ノ内孝一郎が優勝を飾りました。（BHM編集部、photo by Junichi Hirai）

初日は次第に風が吹き上がりサバイバルモードに。テザー級のレースはキャンセルされました。



左) 秋晴れとなった大会2日目。爽やかで気持ちの良い青空が広がりましたが、残念ながら風が上がり安定しません。右) 第3レースは南からのうねりと強い潮が入り、スタートを試みますが時間切れノーレースに。第30回全日本は2レースで終わりました。



左) 総合優勝、戸室宣房／堀ノ内孝一郎（江の島）。マスターズ優勝も獲得。右) 表彰式：優勝、戸室／堀ノ内（江の島）、2位は軽部 香／軽部竜也（稲毛）、3位は渡辺克充／中野佳代子（芦屋）



左) グランドマスターズ優勝、田中郁也／田中紀子（稲毛）、中) スーパーグランドマスターズ優勝、石塚恒志／白岩道孝（浜名湖）、右) 夫婦や親子等いろんなペアでセーリングを楽しんでいるのもテーザー一級の特長です。写真は親子で出場した宮下知之／宮下 颯（葉山）



左) 今回の大会には小学生セーラーが2人出場（宮下颯選手、植田遼空選手）。がんばりました！
右) テーザー全日本全員集合。次回の公式レースは11月8日に開催される「和歌山ワールドメモリアルレガッタ」です。テーザー一級は2017年夏の蒲郡・世界選手権に向けて盛り上がってきています。

(10/13 BULKHEAD magazine 掲載分を一部編集して使用しております。photo by Junichi Hirai)

全日本懇親会

by 関口真秀さん

30回記念大会の懇親会は、初日にレースが出来なかったフラストレーションが渦巻く中、江ノ島ヨットハーバークラブハウスで、スタート時間を繰り上げて行われました。

歴代全日本チャンピオンの振り返りは、第一回優勝者である安原実郎さんからお言葉をいただくところから始まりました。30年間現役テーザーセーラーとして活動されてきた安原さんはもちろん、第二回全日本選手権大会以降連続出場されている山本さんをはじめ、あの人、この人、懐かしい顔ぶれがずらり。会場のスクリーンに懐かしい顔が映し出される度に歓声が上がリ、テーザーの30年の歴史を皆で共有することができました。歴史を紐解くことで今まで脈々と引き継がれてきたこのクラスの居心地の良さを改めて感じ、これからも継承していきたいと心から思う時間となりました。

また、複数回優勝者（小澤拓身さん/小松充さん）・複数回優勝チーム（佐藤/村岸チーム）を制し、最多優勝チーム（7回）として田中郁也/紀子チームからも、これまでのレースについてコメントをいただきました。

さらに、今回全日本選手権初参加のチーム、そしてこれからのテーザークラスを支える若者（下は小学生～20代まで）からも、一言ずついただきました。最後に2年後に控えた日本でのワールドに向けての士気を高め、過去を振り返るだけでなく、未来に向かうテーザークラスらしい記念すべき懇親会となりました。



和歌山ワールドメモリアルレガッタ

11月8日、和歌山セーリングセンターで「テザー和歌山ワールドメモリアルレガッタ」が開催され、全国から10艇が参加しました。今回の参加艇は10艇中7艇が男女ペアでした。（レポート・写真/日本テザー協会）



和歌山で開催されたテザー和歌山ワールドメモリアルレガッタ。2009年世界選手権を記念して毎年開催されている大会です。

レースは前線通過の影響を受けたコンディションの中で行われ、風の振れに加えて強弱も激しく、艇のスピード維持に苦勞する難易度の高いレガッタでした。第1レースはスタート直後に風が弱まりましたが、南東からのブローを最初に掴んだ艇が先行して渡辺/中野組がトップフィニッシュ。

第2レースは一番強いブローでオーバーパワーになるほど風が上がりましたが風の振れと強弱差は相変わらず激しく、上マーク付近で左右どちらの風が支配的かを見誤ると一気に順位が落ちるような状況でした。そんな中、最終上マークで有利な左サイドからアプローチした軽部/軽部組が1位でフィニッシュしました。

第3レースはさらに強いブローが入るようになった一方で風が極端に落ちるレグも存在して不安定さが増しました。このレースのトップは山村/山村組でした。パフラルが激しい風の中で回航順位がめまぐるしく入れ替わりましたが、山口レース委員長からの「3レースとも200度のマーク設定でした」という講評のように風軸は意外にも安定していたようです。

結果3レースとも大きく崩さなかった中村/岡本組、渡辺/中野組、軽部/軽部組がそれぞれ1位~3位入賞となりました。

来年のテザー全日本選手権は和歌山で開催することが決まっており、遠方から来た人には「来年の全日本にまた来てほしい」という想いで地元の清酒が提供されました。

次の公式レースは2月21日に稲毛で開催されるミッドウィンターレガッタです。前日には、練習会を開催予定です。みなさまの参加をお待ちしています！

(11/11 BULKHEAD magazine 掲載)

和歌山ワールドメモリアルレガッタ参加レポート 葉山フリート 中村賢一さん

11/8(日)にテザー和歌山ワールドメモリアルレガッタが開催されました。地元、岡本さんと2度目のペアを組ませていただいたテザー葉山フリートの中村からレポートさせていただきます。

あいにくの天候にも関わらず全国から10艇が参加しました。先月のテザー全日本での雪辱を晴らしたい人、来期の全日本開催が和歌山に決定して練習したい人など、思惑はそれぞれだったと想像します。最近テザーではよく親子ペアも見受けられますが、今回は10艇中7艇が男女ペアでした。テザーは誰とでも長く楽しめるクラスだと実感させられたレースにもなりました。

そんな参加メンバーにとっては厳しいコンディションが待ち受けていました。予報されていた前線通過による突風を気にしつつ出艇しましたが、吹いてきたと思ったらどしゃぶりの雨、降り終わったら風が無くなる、というつらい時間が続きました。2度、予告信号と延期を繰り返し、3度目ようやく南風でレースを開始。その後はレースを経るたびに風が上がってきて、前線のリスクを意識しながらのレース展開となりました。比較的高い山が近くて、いわゆる吹きおろしの風がレース海面を支配しており、スタート前にコースの有利サイドが右なのか左なのかを的確に判断するのは難しかったと思います。風の振れに加えて強弱も激しく、単純に艇のスピードを維持することもままならないとても難易度の高いレガッタでした。

第1レースはスタート直後に風が弱まりましたが、南東からのブローを最初に掴んだ艇が先行し、途中何度も順位が入れ替わりながら、渡辺/中野組がトップフィニッシュ。2位 中村/岡本組、3位 石川/黒臺組、4位 池田/秋吉組と続きました。第2レースになると、一番強いブローではオーバーパワーになるほど徐々に風が上がってきました。しかし相変わらずの風の振れと強弱差で、特に上マーク付近で左右どちらの風が支配的かを見誤ると一気に順位が落ちるような状況でした。そんな中最終上マークで有利な左サイドからアプローチした軽部/軽部組がその後のリードを保ち1位でフィニッシュ。第3レースはさらに強いブローが入るようになった一方で、風が極端に落ちるレグも存在し不安定さが増していきました。途中、米本/堀之内組がトップ争いを繰り広げるも、最後は新婚の山村/山村ペアがめでたくトップフィニッシュで締めてくれました。

めまぐるしく順位が変わったレースでしたが、レース委員長の山口さんから「3レースとも200度のマーク設定でした」との講評に代表される通り、風軸は意外にも安定していたようです。結果3レースとも大きく崩さなかった中村/岡本組、渡辺/中野組、軽部/軽部組がそれぞれ1位?3位入賞となりました。閉会式では、来年和歌山全日本の開催を盛り上げようと、遠方から来た人それぞれに地元の清酒が賞品として提供されました。ぜひ次回のテザー全日本選手権大会は多数の艇に参加いただきたいと思います。



ミッドウィンターレガッタ

2月21日、テザー級の公式レース「ミッドウィンターレガッタ」が稲毛ヨットハーバー（千葉県千葉市）で開催され、昨年の12艇を上回る18艇が参加しました。テザーは2017年8月の日本（蒲郡）ワールドに向けて盛り上がっており、今回は初出場4チームが参戦しました。（レポート・写真/日本テザー協会）

レース当日は朝から北の強風が入り、一度出艇したものの一旦ハーバーバック。風が落ちるのを待って午後からレースを行いました。7~8メートルの振れまわる風の中、順位はめまぐるしく変わりましたが、その中でも基本的なボートハンドリングのうまさや風を引き寄せたチームがマーク回航のたびに順位を上げていきます。



ショートコースでテンポよく行われたレースを制したのは、地元の風を良く知る池田・須山組（稲毛）。2位はリコールに泣いた佐藤・村岸組（江ノ島）、3位は手堅くまとめた中村・小松組（葉山）でした。

テザー級では、2017年8月に日本（蒲郡）でワールド開催が予定されています。今年2016年7月22日~24日には、前哨戦としてプレワールド（蒲郡）が開催されます。

テザーセーラーには、学連で470やスナイプに乗っていた方、クルーザーチームと掛け持ちしている方、社会人から始めて活躍している方など様々いらっしゃいますが、みな真剣にレースを楽しんでいます。

日本テザー協会では練習会等の強化策に加え、レースでのチャーター艇紹介も行っています。テザーのレースに出てみたいという方は、日本テザー協会のホームページからお気軽にお問い合わせください。ウェブサイトにはテザー初心者の方への様々なガイドを掲載しています。ご関心のある方はぜひご覧ください。

<http://tasarjapan.org/index.php/introduction/gettingstart>

次の公式レースは4月23、24日に葉山で開催されるスプリングレガッタです。みなさまの参加をお待ちしています！



優勝の池田・須山組

(2/22 BULKHEAD magazine 掲載)

ミッドウィンター初参加者からの声

【江ノ島から参戦 JPN2732 大橋・中澤組】

大橋/中澤組にとって、本レガッタが初のテザーレース出場でした。これまで入社以来二人で470クラスに乗っており（気が付けば10年）、なんとなく「テザーにも乗れる」という軽い認識で今回のレースに臨みましたが、結果は成績表のとおり、ほろ苦いものとなりました。

レース自体は、平均7~8mの中で実施されましたが、①強風下におけるセールの作り方やバランスの取り方、②ヘルムとクルーの役割分担が470と違うこと、③新しくトリムをしなければならないブームレバー(?)が増えたことなど、慣れないことや新しいことで、動作はバラバラ、まさに「船の上で単に踊っていただけ」というのが初めてのレースを終えた感想になります。

7月のプレワールド@蒲郡までの限られた時間の中で、正しい船の乗り方をしっかりと学び、「レース」ができるよう準備したいと思います。

最後になりますが、初日の練習会やその後の歓迎会にて我々二人を暖かく受け入れて頂いたテザー協会の方々、テザーの世界に誘っていただいた村岸さん、船をご準備いただいた亀山様、今回のレースを運営に携われたかの方々皆様に、御礼を申し上げたいと思います。有難うございました。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

【メンバー紹介】

- ヘルム : 大橋 太一 (34) 株式会社製作所ヨット部 所属
ヨット歴: 唐津工業高校 (FJ)、法政大学 (470)、
社会人 (470/スナイプ/シーホース/A級ディンギー)
- クルー : 中澤 大三郎 (33) 株式会社製作所ヨット部 所属
ヨット歴: 同志社大学 (470)、社会人 (470)

(中澤 大三郎さん)



【千葉大学ヨット部OB・OGチーム 森田・笹谷組】

はじめまして昨年に千葉大学ヨット部を引退しました、森田と申します。
引退後は何に乗ろうかなと模索中に誘われて今回出場しました。
今大会はテザー3回目ということで動作がスタボロで、タックの度にこれでもか！
というくらいに失速してしまいました。結果は良くありませんでしたが、
今後も定期的に練習してリベンジしたいと思います！（森田暁洋さん）



はじめまして、この春から千葉大学のヨット部OGになる笹谷です。
大学では470にのっていたのですが、機会があって今回ミッドウィンターレガッタに参加
させていただきました。レースに向けては数回ほどテザーにのって練習できたので、
今回のレースは楽しみにしていましたが結果は惨敗だったので、また機会があれば（でき
れば軽風のときに！）、今回のリベンジをしたいと思っています。
（笹谷志緒音さん）

【立命館ヨット部OBチーム 室田・野中組】

今回は風に恵まれ強風の中でTasarの楽しみを存分に味わえたと思います。
これまで強風下でTasarに乗ったことが無かったのでボートスピードは圧巻でした。
今後はもっと練習をつんでよりTasarを乗りこなせるように挑戦したいと考えています。
今後よろしくお願いたします。（室田 大輔さん）

テザーでのレースは初めてだったので、色々なことを知り、
経験することが出来ました。まだまだテザーに関しては初心
者ですが、みなさんこれからもよろしくお願いたします。
（野中慎介さん）



全日本にも、ミッドウィンターにも、新しい顔
がわかりました。全日本では親子でレースを楽
しむチームも増えました。小学生から90代ま
で、幅広い世代がそれぞれに、豊かな時間を味
わえる、Tasarクラスのこれからの、もっと
「どきどき・わくわく」

第30回記念テザー全日本選手権

2015年10月10~12日 江ノ島

レース委員長

Pos	Sail No.	フリート/地域		スキッパー	クルー1	クルー2	1R		2R		カット	Total
							着順	得点	着順	得点		
1	JPN 2821	江ノ島	M	戸室 宣房	堀ノ内 孝一郎		2	2	4	4		6
2	JPN 2572	稲毛		軽部 香	軽部 竜也		3	3	5	5		8
3	JPN 2866	芦屋	M	渡辺 克充	中野 佳代子		4	4	7	7		11
4	JPN 2715	葉山	M	中村 賢一	小松 利英		10	10	3	3		13
5	JPN 2862	江ノ島	M	佐藤 浩章	村岸 恭明		1	1	13	13		14
6	JPN 2765	稲毛	GM	田中 郁也	田中 紀子		15	15	1	1		16
7	JPN 2736	稲毛		山村 太郎	吉田 向志		14	14	2	2		16
8	JPN 2707	浜名湖	SGM	石塚 恒志	白岩 道孝		13	13	6	6		19
9	JPN 2396	葉山	M	山本 晴之	山本 玲子		9	9	11	11		20
10	JPN 2880	稲毛		池田 陽平	金田 崇利		6	6	16	16		22
11	JPN 2748	葉山		米本 隆	野嶋 嘉昭		8	8	15	15		23
12	JPN 2669	大阪北港	GM	池田 俊則	秋吉 寿美子		18	18	8	8		26
13	JPN 2719	大阪北港	M	石川 光輝	石黒 克司		5	5	24	24		29
14	JPN 2222	/ 津	GM	平田 貴之	櫻井 智美		21	21	9	9		30
15	JPN 2705	芦屋		植田 泰平	植田 遼空		23	23	10	10		33
16	JPN 2861	大阪北港		三輪 記裕	中山 弘幸		12	12	21	21		33
17	JPN 2575	葉山	M	石井 浩一郎	登尾 早苗		11	11	23	23		34
18	JPN 2745	江ノ島		関口 真秀	上松 慮生		7	7	28	28		35
19	JPN 2730	稲毛	GM	宇佐美 重則	小田倉 里美		16	16	20	20		36
20	JPN 2652	江ノ島	SGM	山分 信	田口 公一		25	25	12	12		37
21	JPN 2749	稲毛	M	野口 優	杉田 智宏		19	19	18	18		37
22	JPN 726	/ 江ノ島		松本 浩司	武藤 拓万	徳久 慶彦	22	22	17	17		39
23	JPN 2671	葉山	M	阪井 祐介	宮下 健		20	20	19	19		39
24	JPN 2709	葉山		宮下 知之	宮下 颯		27	27	14	14		41
25	JPN 2593	稲毛	M	亀山 寛達	井上 敦		17	17	27	27		44
26	JPN 2712	稲毛	M	下村 晃司	竹内 俊輔		24	24	25	25		49
27	JPN 2808	葉山	GM	石川 洋二	山崎 真一		28	28	22	22		50
28	JPN 2738	江ノ島	M	武田 純	松本 陽一	武田 朋美	26	26	26	26		52
29	JPN 2806	江ノ島	M	和波 拓郎	和波 真帆		29	29	29	29		58

2015年 Tasarクラス 和歌山メモリアルレガッタ

主催: 日本テーパークラス協会、和歌山県セーリング連盟

期日: 2015年11月8日(日)

開催地: ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点(和歌山セーリングセンター)

Total Rank	SAIL No.	選手	選手	フリート /水域	クラス	Race 1			Race 2			Race 3			ALL		クラス	Rank
						Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Order	Rank	Point	Total pt	Total Rank		
1	2655	中村 賢一	岡本 憲二	葉山	M	2	2	2	2	2	2	3	3	3	7	1	M	1
2	2866	渡辺 克充	中野 佳代子	芦屋	M	1	1	1	3	3	3	5	5	5	9	2	M	2
3	2572	軽部 香	軽部 竜也	稲毛		5	5	5	1	1	1	4	4	4	10	3		
4	2736	山村 太郎	山村 早苗	稲毛		6	6	6	6	6	6	1	1	1	13	4		
5	2719	石川 光輝	黒臺 櫻	大阪北港		3	3	3	4	4	4	10	10	10	17	5		
6	2705	植田 泰平	植田 典子	芦屋	M	8	7	7	5	5	5	8	8	8	20	6	M	3
7	2669	池田 俊則	秋吉 寿美子	大阪北港	GM	4	4	4	9	9	9	9	9	9	22	7	GM	1
8	2396	山本 晴之	蜂須賀 弘美	葉山	GM	9	8	8	7	7	7	7	7	7	22	8	GM	2
9	2748	米本 隆	堀之内 孝一郎	葉山		7	OCS	11	10	10	10	2	2	2	23	9		
10	2861	三輪 記裕	中山 弘幸	大阪北港		10	9	9	8	8	8	6	6	6	23	10		



Date	8-Nov-15	8-Nov-15	8-Nov-15
Starting time	11:31:00	12:27:00	13:20:00
Finishing time	12:12:01	13:05:00	14:09:56
Race end time	12:17:25	13:09:26	14:17:25
Wind direction	200 °	200 °	200 °
Wind speed	6.0 kt	12.0 kt	16.0 kt

2015年度テザーミッドウィンターレガッタ成績表

2016年2月21日 稲毛ヨットハーバー

順位	セール No.	クラス	スキッパー	クルー 1	フリート	race1		race2		race3		race4		合計	修正	最高順位
						順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点			
1	2880		池田陽平	須山研吾	稲毛	1	1	4	4	1	1	11	11	17	6	1
2	2862	M	佐藤浩章	村岸恭明	江ノ島	5	5	2	2	OCS	19	1	1	27	8	1
3	2715	M	中村賢一	小松利英	葉山	3	3	1	1	7	7	4	4	15	8	1
4	2736		中川紘司	山村太郎	未所属	2	2	7	7	6	6	5	5	20	13	2
5	2821	M	戸室宣房	堀之内孝一郎	江ノ島	4	4	9	9	3	3	9	9	25	16	3
6	2671	M	阪井祐介	宮下健	葉山	6	6	8	8	11	11	3	3	28	17	3
7	2719	M	石川光輝	若鍋真秀	大阪北港	11	11	5	5	2	2	OCS	19	37	18	2
8	2205		室田大輔	野中慎介	未所属	10	10	6	6	14	14	2	2	32	18	2
9	2712	M	下村晃司	竹内俊輔	稲毛	9	9	3	3	9	9	7	7	28	19	3
10	2732		大橋太一	中澤大三四郎	江ノ島	7	7	10	10	4	4	10	10	31	21	4
11	2572		花田昴	澤田しおり		15	15	11	11	5	5	8	8	39	24	5
12	593	M	亀山寛達	井上敦	稲毛	8	8	12	12	13	13	6	6	39	26	6
13	2749	M	野口優	杉田智宏	稲毛	14	14	13	13	8	8	12	12	47	33	8
14	726	M	松本浩司	武藤拓万	江ノ島	13	13	14	14	10	10	14	14	51	37	10
15	2593		森田暁洋	笹谷志緒音	未所属	12	12	15	15	12	12	13	13	52	37	12
16	2738	M	武田純	武田朋美	江ノ島	16	16	DNF	19	DNC	19	DNC	19	73	54	16
17	2765	GM	田中郁也	田中紀子	稲毛	DNC	19	DNC	19	DNC	19	DNC	19	76	57	19
17	99	M	軽部香	軽部竜也	稲毛	DNC	19	DNC	19	DNC	19	DNC	19	76	57	19